

## 『日本認知症ケア学会誌』投稿規定

- 投稿者(筆頭著者)は、本会会員に限ります。
- 投稿論文の種別は、認知症ケアに関する総説、原著論文、研究報告、実践・事例報告、資料、短報とし、以下のとおり定義します。なお、他誌に未発表のものを掲載するものとします。
  - 総説：認知症ケアに関する特定のテーマについて、総合的かつ多面的に分析し、概説・考察したもの。ただし、単なる個人の意見ではない系統立った展望論文であることが求められる。
  - 原著論文：認知症ケアに関する内容で、適切な方法論に基づいて実施され、独創的かつ新しい知見が論理的に示されたもの。認知症ケアにおける先行研究についての論及が欠かせず、さらに先行研究と比較してどのような結果が得られたのかという考察が必要となる。
  - 研究報告：「原著論文」ほどまとまった形ではないが、新しい知見を与える有用性、実用性に富んだ研究で、学術上および技術上価値のある新しい研究成果であり、認知症ケアの発展に寄与すると認められるもの。
  - 実践・事例報告：研究・調査あるいは業務上の成果で記録に留める価値のあるもの、あるいは1施設における新しい試み(実践)についての報告などが含まれるもの。
  - 資料：認知症ケアにかかる調査等を通じて得られた結果であり、貴重で有用な資料として発表する価値のあるもの。
  - 短報：独創性があり、発展性の期待できる研究を論文として取りまとめるまでには至っていないが、速やかに公表することにより、広く一般に寄与すると認められるもの。
- 投稿にあたっては、次の点にご注意ください。
  - a) 本原稿のほかにコピーを3部添付してください(計4部)。その他お手元に、必ずコピーを1部、保存してください。また、原稿には必ずデータ(windows版wordあるいはテキストスタイルに変換したもの)を添付してください。
  - b) 投稿用紙に共著者全員が署名・捺印したものおよび投稿論文チェックリストを、同封してください。投稿用紙および投稿論文チェックリストは、本誌に備付けのものをA4判に拡大コピー(114%)、または学会ホームページ(<https://ninchisyoucare.com/>)よりダウンロードして使用するか、編集委員会宛に切手を貼った返信用封筒を同封のうえ、書面にて請求してください。
- 倫理的問題に關し、以下の点にご注意ください。
  - a) 文献やデータならばに設問など資料の引用・出典の明示
  - b) 差別用語等倫理的問題となりそうな用語
  - c) 調査対象者への研究趣旨説明や協力同意の取りつけの有無
    - \* 研究機関等所属先に倫理委員会が設けられている場合は、その承認を得ることが望ましい。
    - \* 研究倫理にかかる注意事項は日本学術振興会「[テキスト版]科学の健全な発展のために;誠実な科学者の心得」に準ずる(<https://www.jsps.go.jp/file/storage/general/j-kousei/data/rinri.pdf>)。
- 原稿の採否および掲載の順序は、編集委員会において決定いたします。
- 執筆要項に定められた刷上り頁数を超過した場合には、刷上り1頁につき15,000円の頁超過料金をお支払いいただきます。
- 原則として、お送りいただいた原稿は、返却できませんのでご承知おきください。ただし、返却の要望がある場合、および不採用の場合はこの限りではありません。
- 著者による校正は、初校のみといたします。
- 本誌に掲載された論文の著作権は、一般社団法人日本認知症ケア学会に帰属します。ただし、著者自身が使用する場合はこの限りではありません。
- 掲載論文については、非会員の方には掲載誌1部を進呈いたします。別刷りをご希望の場合は、50部単位で実費作製いたします。校正の際にお申し込みください。
- 原稿送付先  
『日本認知症ケア学会誌』編集委員会  
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル 株式会社ワールドプランニング内  
Tel: 03-5206-7431 Fax: 03-5206-7757 E-mail: [jdc@ninchisyoucare.com](mailto:jdc@ninchisyoucare.com)

## 『日本認知症ケア学会誌』執筆要項

1. 原稿は原則として、ワープロまたはパソコンにてご執筆ください。その場合、A4の用紙を使用し、40字×30行、天地左右の余白を35ミリとして印字してください。ただし、和文・英文抄録はキーワードを含め、それぞれ1ページに取まるように印字してください。
2. 原稿の体裁は、
  - 1枚目に、①表題(英文表題併記)、②著者名(ローマ字併記、共著者がいる場合は全員)、③本誌に掲載する所属(英文表記併記)、④本誌に掲載する住所
  - 2枚目に、無記名で、⑤和文表題、⑥和文抄録、⑦和文キーワード
  - 3枚目に、無記名で、⑧英文表題、⑨英文抄録、⑩英文キーワード

- 4) 4枚目から、⑪本文、⑫引用文献、⑬図、表、写真とします。また、本文頁には、頁下中央部に、必ず頁番号を印字してください。  
 なお、実践・事例報告、資料ならびに短報の場合には、英文抄録は必須ではありませんが、英文表題は英文目次用として必要となることから、記載してください。
3. 和文抄録は400字以内、英文抄録は200語以内、キーワードはそれぞれ5語以内とします。
4. 原稿の枚数は、図表、写真、文献、和文・英文抄録を含めて、
- 1) 総説、原著論文、研究報告ならびに実践・事例報告は、400字詰め換算35枚以内(14,000字／刷上り9頁以内)
  - 2) 資料ならびに短報は、同25枚以内(10,000字／刷上り6頁以内)を原則とします。
5. 原稿枚数を計算する際、図表は便宜上、一律1点を原稿用紙2.5枚に、和文・英文抄録はそれぞれ原稿用紙1枚と換算してください。
6. 原稿は、新かなづかい、常用漢字にて記載してください。
7. 外国の地名・人名・物件名などは、原語のまま用いることを原則としますが、日本語化しているものについてはカタカナで記載してください。
8. 専門用語は可能な限り日本語とし、初出箇所にカッコでその欧文を記載してください。略語を使用する際は、初出箇所に正式名およびカッコ内にその略語を記載してください。
9. 度量衡の単位は、国際単位系に準拠してください。
10. 脚注の使用は原則として認めません。
11. 文献は引用文献のみとし、日本語、外国語を問わず引用順に番号をつけて記載してください。また、本文中の引用箇所に肩番号を付してください。
12. 文献については、次のとおり記載してください。
- a) 雑誌の場合  
 著者名(4名以上の場合3名まで記載し、その他は“ほか”あるいは“et al.”とする)：表題、雑誌名、巻(号)：頁-頁(発行西暦年)。  
 (例1) 日本太郎：在宅認知症高齢者のケア。日本認知症ケア学会誌、1(2)：25-32(1992).  
 (例2) Nihon T, Tokyo J, Minato S, et al. : The measurement of life satisfaction. *Journal of Japanese Society for Dementia Care*, 1(1) : 12-20(2002).  
 ただし、通巻頁を用いている雑誌では号数は必須ではありません。雑誌名は、正式名を記載してください。
  - b) 単行本の場合  
 ①著者名：書名、版数、発行所、発行地(発行西暦年)。  
 (例1) 日本太郎：老人の睡眠と健康。第2版、ワールドプランニング、東京(1992).  
 (例2) Nihon T : Aging and cognitive processes. 2nd ed., World Planning, Tokyo(1992).  
 ②著者名：論文名。(編者名)シリーズ・叢書名巻数；各巻書名、頁-頁、発行所、発行地(発行西暦年)。  
 (例1) 日本太郎：人口高齢化に伴う社会的・経済的变化。(赤坂二郎、港 三郎編)老年医学全集 第7巻；老年社会科学、ワールドプランニング、東京(1992).  
 (例2) Nihon T : Quality of life in older persons. In The hand-book of geriatric medicine, ed. by Akasaka J, Minato S, Vol.7, Gerontopsychiatry, World Planning, Tokyo(1992).
  - c) 電子メディア情報の場合  
 著者名(公表年または最新の更新年)「当該情報のタイトル」(URL、アクセス年月日)。  
 (例1) 厚生労働省(2002)「サービス供給における契約について」(<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/syakai/sienhi/jimu05.html>, 2002.5.12).
13. 図(写真)、表は説明をつけ、挿入箇所を原稿に指示してください。  
 図表タイトルおよび説明等は、以下の順としてください。
- 1) 図の場合：図版の下に、図の注、図の説明、出典、その下に図タイトル
  - 2) 表の場合：表タイトルの下に、表本体、表の注、説明、出典  
 出典は、版権等の関係からオリジナルの場合を除き必ず記載してください。
14. 白黒写真は、手札サイズ(8×10 cm)以上の紙焼きとしてください。
15. 写真内に文字、矢印などを必要とする際は、トレーシングペーパーをかけた上から記載してください。
16. 原色刷りを希望される場合には、カラースライドをお送りください。ただしカラー製版・印刷代は投稿者の実費負担となります。
17. 投稿論文の査読は、著者名等をプライドにして行っています。そのため、本人の著の文献等であっても、「筆者」「拙著」等とせず、著者名で記載してください。
18. 薬品名は、一般名を原則とし、必要なときだけ商品名<sup>®</sup>を付して記述してください。

## 『日本認知症ケア学会誌』投稿論文チェックリスト

本学会の「投稿規定」「執筆要項」をよく読み、これらに準じていることを確認したうえで、原稿に添付して提出してください。以下の項目が満たされていない場合、投稿を受領できないことがあります。

- 投稿者（筆頭著者）は本学会会員である
- 投稿にあたり、共同研究者の承諾を得ている
- 希望する投稿論文の種別は「投稿規定」に定義されている投稿種別に準じている
- 原稿の内容は他誌に未発表である
- 原稿の1枚目に表題（英文表題を併記）、著者名（ローマ字併記、共著者がいる場合は全員）、所属（英文表記を併記）、住所が記載されている
- 原稿の2枚目に和文表題、和文抄録、和文キーワードが記載されている
- 原稿の3枚目に英文表題、英文抄録、英文キーワードが記載されている
  - \*実践・事例報告、資料、短報は英文表題のみ必須
- 原稿の4枚目から本文、引用文献、図・表・写真の順で記載されている
- 原稿の枚数は図・表、文献、和文・英文抄録を含めて「執筆要項」の制限範囲内である
- 原稿はA4の用紙を使用し、1行の文字数を40字、1頁の行数を30行としている
- 倫理的問題に配慮し、その内容は本文中に明記されている
- 和文抄録、英文抄録、図・表、文献等は「執筆要項」に従っている

### （注意事項）

1. 本文には氏名、所属など投稿者が特定できる事項は記載しないでください
2. 図表はオリジナルものを使用してください。ただし、引用する場合はその著者等の承諾を得て、出典を明記してください。
3. 原稿にはデータを添付してください
4. 本原稿のほかにコピーを3部添付してください（正1部、副3部）
5. 本チェックリストのコピーを1部控えとしてお持ちください。

年           月           日

投稿者署名 \_\_\_\_\_ 印

年 月 日

一般社団法人日本認知症ケア学会  
『日本認知症ケア学会誌』投稿用紙

フリガナ  
氏名

ご所属

連絡先住所 所属先・自宅 (○印を付してください)

〒

TEL

FAX

E-mail

下記のとおり『日本認知症ケア学会誌』に投稿します。

投 稿 種 別	1. 総説 4. 実践・事例報告	2. 原著論文 5. 資料	3. 研究報告 6. 短報
表 題			
投 稿 者 氏 名	会員番号*	所 属	確認印
1.			
2.			
3.			
4.			
5.			
6.			
7.			
8.			
9.			
10.			

\*筆頭著者のみ